

今夏の電力需給実績について

1 今夏の需要実績について

(1) 最大電力

今夏は、7月の中下旬において、平年気温を上回る日が多かったものの、8月の気温は、期間を通してほぼ平年並みとなり、2010年夏季のような猛暑にはなりませんでした。

また、当社エリア内においても、国の節電目標が設定されたことなどにより、多くのお客さまに節電にご協力いただき、最大電力は低めに推移しました。

この結果、1点最大電力は、7月27日（金）の2,478万kW（発電端）となり、2010年度猛暑並みの1点最大電力に節電を織り込んだ計算値2,648万kWと比較し、170万kW低くなりました。

また、今夏の最大3日平均電力（月別）は、7月の2,457万kW（発電端）となりました。

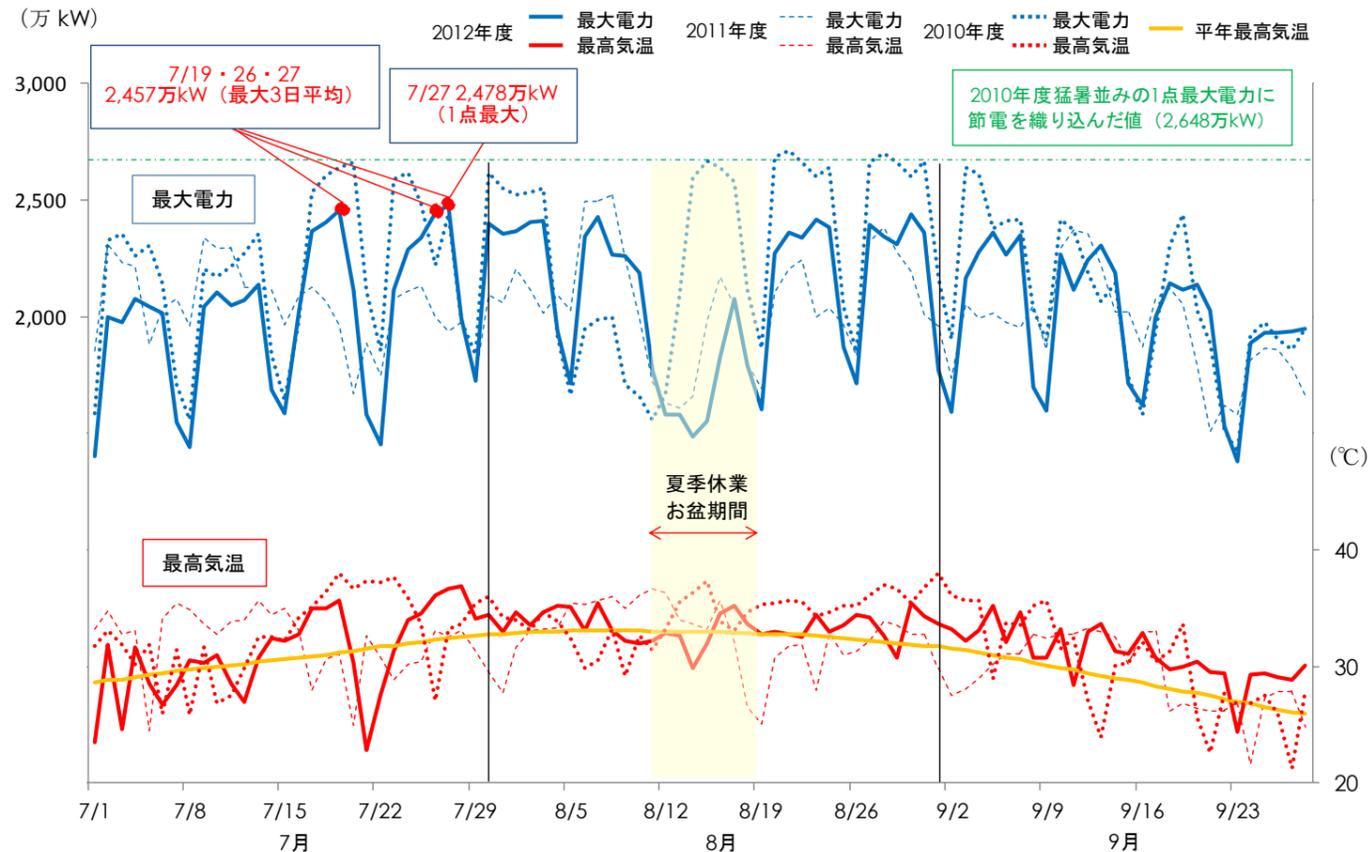
<今夏1点最大電力（発電端）>

7月27日（金）
2,478万kW

<月別最大3日平均電力（発電端）>

7月	8月	9月
2,457万kW	2,427万kW	2,338万kW

[最大電力および最高気温の推移]



<参考> 名古屋の最高気温の平均

[°C]

	7月				8月				9月			
	上旬	中旬	下旬	月間	上旬	中旬	下旬	月間	上旬	中旬	下旬	月間
本年	28.7	32.0	32.8	31.2	33.9	32.9	33.4	33.4	32.9	31.1	28.5	30.8
前年差	▲4.1	▲1.1	2.0	▲1.0	0.8	▲1.0	2.3	0.7	2.4	▲0.8	2.3	1.3
平年差	▲0.7	1.4	0.4	0.4	0.8	▲0.2	1.1	0.6	1.9	2.4	2.2	2.2

(2) 節電効果

今夏の需要実績を2010年度と比較した結果、夏季期間平均で155万kW（6.1%）の節電効果があったと推定され、当社エリア内に当初設定された国の節電目標を上回る水準となりました。

<期間平均の節電効果（2010年度比較）>

一般的な節電効果	130万kW	
計画調整契約等	25万kW	
節電効果（合計）	155万kW	
内訳	ご家庭のお客さま	60万kW
	法人（企業）のお客さま	95万kW

(3) 計画調整契約の拡大

計画調整契約につきましては、全国の厳しい需給状況を踏まえて調整力の上積み積極的に取り組んだ結果、お客さまのご協力により、当初目標を上回る契約をいただくことができました。

2012年度	目標値	契約値
夏季休日契約等	40万kW	45万kW（約1,200件）
自家発調整契約	10万kW	16万kW（約100件）
合計	50万kW	61万kW（約1,300件）

<参考> 需要面における新たな取り組み

	内容
アグリゲーターを活用した需要抑制	中部電気保安協会とイオスエナジーマネジメント㈱の2者との協業により、高圧500kW未満のお客さまの需要抑制スキームを試行的に実施しました。
通告調整契約の設定	関西電力の需給ひっ迫が見込まれる際に、大口のお客さまに対して空調や生産ラインの停止などによる需要抑制を依頼し、それを原資に関西電力に融通送電する「通告調整契約」を設定し、25万kW（約50口）の調整力を確保しました。

2 今夏の電力需給について

(1) 供給面での対応

事前に計画していた供給力対策を確実に実施し、安定供給に必要な供給力を準備しました。電力需要についても想定よりも低めに推移した結果、今夏は、期間を通じて当社エリア内の安定供給を確保することができました。

項目	内容
火力機の法定期限を超えた定期点検時期の繰り延べ	<ul style="list-style-type: none"> 川越火力発電所 3-3 号の定期点検時期変更 知多火力発電所 1 号機の定期点検時期変更
設備改修による発電効率向上等による水力発電所の出力増加	<ul style="list-style-type: none"> 認可出力の変更（奥矢作第一、奥泉、和合） 弾力運用の実施（泰阜、畑薙第二）
発電所および送変電設備等の重点的な点検	<ul style="list-style-type: none"> 安定供給に向けた夏季前の重点的な点検を確実に実施

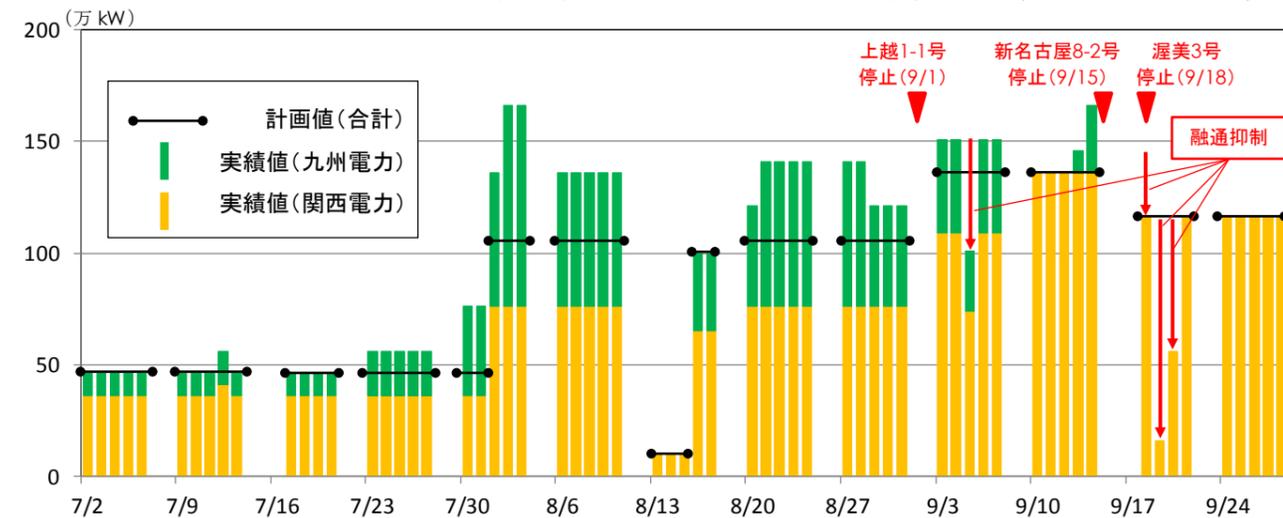
<参考>年度当初より織込み済みの対策

項目	内容
火力機の定期点検時期の変更等	<ul style="list-style-type: none"> 武豊火力発電所 2 号機など長期計画停止火力機の運転 軽負荷期（春季）への定期点検時期の前倒し（4 ユニット） 定期点検期間の可能な限りの短縮（4 ユニット）

(2) 他電力への応援融通

当社は、電力需給が厳しい関西電力および九州電力の要請に対して、当社エリア内の安定供給に支障がないことを前提に、供給余力の範囲内で最大限の応援融通を行いました。その結果、平日のピーク時間帯において関西電力に最大 136 万 kW（9 月）、九州電力に最大 90 万 kW（8 月）の応援融通を実施しました。

しかしながら、9 月には、複数の火力発電所の計画外停止に伴い、当社の供給余力が減少したため、当社エリア内の安定供給の観点から、合計 4 日の応援融通の抑制を行いました。



※1 上記グラフは、土日祝日を除く、平日ピーク時間帯の数字となっております。

※2 関西電力への融通実績には、自家用発電設備の出力増加分を含んでおります[平日 8~22 時、最大 16 万 kW]。

※3 9 月 5 日については、9 月 4 日の知多火力発電所 2 号機停止（同日復帰）を受け融通抑制を実施しました。

3 発電所の計画外停止

当社は、夏季の期間中も週末やお盆など需給への影響が小さい時期を利用し、発電機の点検補修を行うことで、発電機の安全運転に努めてきたものの、9 月には複数の火力発電所で計画外停止が発生しております。

発電所名	概要	復旧見込
上越火力発電所 1-1 号 [定格出力:59 万 5 千 kW] (発生日:2012 年 9 月 1 日)	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気タービン軸受振動が上昇したため、発電を停止。蒸気タービン全 30 段中、29 段目の動翼（全 96 枚）のうち一枚に欠損を確認した。 欠損箇所をメーカーに持ち込み原因を調査中。 取替翼は、非破壊検査を実施し欠陥が無いことを確認した。 	10 月中旬復旧予定
新名古屋火力発電所 8-2 号 [定格出力:40 万 kW] (発生日:2012 年 9 月 15 日)	<ul style="list-style-type: none"> ガスタービンの異常を示す警報とともに自動停止。また、遠隔監視カメラにより、ガスタービン室内の白煙および炎を確認し、約 6 時間後に鎮火を確認した。 現在、火災原因を調査するため、開放作業を進めている。 開放点検作業中にガスタービン翼全 4 段中、2~4 段の動静翼に損傷を確認した。 	年内復旧を目途
渥美火力発電所 3 号 [定格出力:70 万 kW] (発生日:2012 年 9 月 18 日)	<ul style="list-style-type: none"> 運転中に社員がボイラー底部に水の滴下を確認した。 調査したところ、蒸発管 1 か所に約 10mm の亀裂および管内面に約 20mm の腐食を確認した。 漏えいがあった蒸発管の取り替えを実施した。 原因は、蒸発管内面の腐食箇所にユニット起動・停止によって、繰り返し力（応力）が加わり腐食箇所に亀裂が発生したものと推定している。 	9 月 27 日復旧済

以上